

Library information

図書館だより

○中央 ☎072-950-5501 (月)休館 ○丹比 ☎072-937-2355 (月)休館
 ○陵南の森 ☎072-952-2750 (月)休館 ○羽曳が丘 ☎072-957-5553 (月)休館
 ○東部 ☎072-950-2002 (月)休館
 ○古市 ☎072-958-0050 (月)休館 開館時間 10:00 ~ 17:30
 ○ブックステーションはびきのコロセアム ☎072-937-7210 (火)休館 13:30 ~ 16:30 開館
 全館休館 毎月最終水曜 (12月を除く・祝日の場合は翌日)

●開館時間 10:00 ~ 18:00 (中央は平日 10:00 ~ 20:00 土日祝 10:00 ~ 18:00)

おはなし会 (2月)			今月の特集テーマ	
中央図書館	3日(土) 17日(土)	11:00 ~	一般	古今東西・短編小説
	11日(日) 25日(日)	14:00 ~	児童	ねこの本
	17日(土)	15:00 ~		
陵南の森図書館	4日(日) 11日(日) 24日(土)	11:00 ~	一般	ライト文芸って知ってますか?
	17日(土)	15:00 ~		
	18日(日) 小さい子向き	11:00 ~	児童	王さま女王さま
	18日(日) 少し長いお話を聞ける子向き	11:30 ~		
東部図書館	14日(水)	10:30 ~		みてみて!! ちょっと大きめの本
丹比図書館	24日(土)	10:30 ~		「きょうだい」たちが主役!
古市図書館	16日(金) 大人向けおはなし会 ※欄外をごらんください	13:30 ~	一般	健康 第一!!
			児童	「ふゆ」のおはなし
羽曳が丘図書館	10日(土) 24日(土)	11:00 ~		ハートをぶつけよう

大人向けおはなし会 (古市)

ちょっとおはなし聞きに行こっ!
 ~おはなし会で子どもだけちゃうねん!~
 大人になった今だからこそ、「語り」を聞いてみませんか?
 日時 2月16日(金) 13:30 ~ (30~40分程度)
 場所 古市図書館
 内容 『あまのいわと』(絵本)
 『たかにさらわれた子』(素話) ほか
 語り手 おはなしの森 ※事前申し込み不要

◇たけのこくんグッズのデータがダウンロードできます
 図書館ウェブサイトの「たけのこくんグッズ」コーナーでは、オリジナル素材のデータがダウンロードできます。印刷してご自由にお使いください。
 ただいま公開中のデータ たけのこくんぼち袋・卓上カレンダー・ブックカバー・折り紙しおり他

今月の休館日は 2月28日(水) 図書の返却はブックポストをご利用ください。

◇羽曳野市立図書館雑誌スポンサー募集 (令和6年度)

図書館では、令和6年度の雑誌スポンサーを募集します。図書館所蔵の雑誌が、地域の事業活動の身近な広告手段としてご利用いただけます。
【期間】 令和6年4月~令和7年3月(年度単位) ※年度途中からは問い合わせ **【費用負担】** 雑誌の購入代金1年間分を指定先に直接支払う
【配架場所】 市内図書館より選択 ※ブックステーションコロセアムは除く **【提供雑誌】** 図書館所蔵の雑誌から選択
【対象】 企業、商店、組織・団体 ※個人不可 ※所定の審査あり
【広告表示方法】 雑誌の表紙面の透明カバーにスポンサー名を表示(縦3cm×横10cm以内) ・裏表紙全面に指定の広告を掲出
 ※詳細は、お問い合わせまたはウェブサイトをご覧ください。 → 「羽曳野市 雑誌スポンサー」で検索

スポンサー名	全面広告
表紙	裏表紙

期待できる効果 ・雑誌は図書館でも多くの方に利用され、回転率・利用率が高い。また、利用者は市内や近隣市在住の方が多く、地域での高い広告性が期待できる。
 ・市内全館での貸出利用者は年間約17万6千人(令和4年度)、最新号は館内閲覧期間を設けているので、多くの人の目に留まりやすい。
 ・幅広いジャンルの雑誌があるので、読者層を想定してターゲットを絞った広告ができる。

次のようなことも行っています ・スポンサー名を市内全図書館に掲示(通年) ・ウェブサイト上の図書館のページ、公式Instagramにスポンサー名を掲載(通年)
 ・スポンサー名を「広報はびきの」「図書館だより」に掲載(随時)

<令和5年度 雑誌スポンサー> (敬称略、順不同)
 大阪府書店商業組合共同受注羽曳野市支部、(株)高松ギフトプランニング、羽曳野市商工会、お好み焼き「美吉乃」、(福)大阪福祉事業財団 高鷲学園、ガールスカウト大阪府第36団、恵我之荘商店会 **【問合せ】** 陵南の森図書館 ☎072-952-2750 FAX 072-955-5015

サラダボール

先日、近所を歩いていると「こんにちは!」と見知らぬ青年に声をかけられました。周囲を見回しても私の他には誰もいません。するとその青年は「OOです」と笑顔で自己紹介してくれました。なんと少年野球チームの教え子だったのです。

彼は見違えるほど立派に成長していましたが、その笑顔は昔のままでした。今から14年前、息子が少年野球チームに入団したことをきっかけに野球経験の無い私でしたが、コーチとしてお手伝いをする事になりました。

そのチームは、決して強くはありませんでしたが、和気あいあいとしており、厳しい指導をしても辞める子はほとんどいませんでした。息子が卒業してから私はコーチとして残りました。野球を

上達してほしい、勝つ喜びを味わってほしいという思いは不思議なことに年々強くなっていきました。自分の事は自分で出来る子になってくれるように、グラウンドのトンボ掛けやネット張りを指導したり、野球以外にも、挨拶の大切さを話したりしました。

シーズンの終わりには野球以外の体験も試みました。公衆電話から電話を掛けたことがないということも、ひとりずつ公衆電話に行き、私の携帯電話に電話をかけることにチャレンジしてもらいました。電話ボックスへの入り方、お金の入れるタイミング、また受話器の使い方知らない子もいましたが、それでも苦労して掛かった時は大喜びでした。

戸惑いながら、失敗しながら、野球も、野球以外の体験もしていることも達の姿は私にとってかけがえのないものでしたが、私は10年を区切りにチームを卒業しました。

さて、十数年ぶりにばったり会った私達は瞬時にあの頃の話に花を咲かせました。彼は、あの経験があるから公衆電話から電話を掛けることができると自信をもって言ってくれました。(本当かどうか試したくなりました)

彼が野球以外の体験を懐かしそうに話してくれたことは、私にとってあの頃の出來事が単なる思い出ではなく心の深い部分で自分を支えてくれる経験だったと教えてくれました。私も彼も信頼関係は全く変わらずにいたと思ったひと時でした。彼と別れた後も私の心には温かいものが残り続け、人とのつながりは時を隔ててもなお、自分を豊かにしてくれると嬉しくなりました。

そしてお互いの信頼関係を築くことがこんなに大切なものだと、実はあの頃のことも達に私が教わっていたのだと、爽やかな気持ちになりました。

はびきのしじんけんけいはつすいしんきょうざいかい
 羽曳野市人権啓発推進協議会